

令和

6

年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I 類	A事業所のみを有する特定事業者
II 類	B事業所を有する特定事業者(III 類の事業者を除く)
III 類	C事業所を有する特定事業者
IV 類	任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事 業 者 名			国分グループ本社株式会社・株式会社マルエツフレッシュフーズ	
所 在 地			東京都中央区日本橋1-1-1・東京都豊島区東池袋5-51-12	
事 業 者 番 号			0522	
燃 料 等 使 用 量 の 原 油 換 算 の 合 計 量 （ 前 年 度 ）			3,601	kL／年
大 規 模 小 売 店 舗 面 積 （ 単 独 で 1,500KL 未 満 で 延 床 面 積 10,000㎡ 以 上 の 事 業 所 ）				㎡
産 業 分 類 名 （ 中 分 類 ）			09 食料品製造業	
分 類 番 号 （ 中 分 類 ）			09	
事業活動の 概 要	事 業 内 容		【国分グループ本社株式会社】 事業内容：酒類・食品・関連消費財にわたる卸売業及び流通加工、配送業 務、貸借業 ほか 従業員数：5,051名（連結）（2023年12月）資本金：35億円 【株式会社マルエツフレッシュフーズ】 事業内容：生鮮食料品及び保存食料品の仕入、製造、加工及び販売 従業員数：1,159名（2024年4月）資本金：5,000万円	
	区 分		企業	
	前 年 度	資 本 金	3,550	百万円
		従 業 員 数	6,210	人
商 標 又 は 商 号 （ 連 鎖 化 事 業 者 の み ）				

（３）県内に設置している事業所

（自動転記）

事業所 種別	事業所 番号	事業所名	前年度の原油換算 エネルギー使用量 (kL)
A、Bテナント等事業所			
B、C事業所			
C	052201	国分・マルエツ 三郷流通センター	3,601
合 計			3,601

（４）公表方法

○	インターネット利用による公表	ア ド レ ス	https://www.maruettsu.co.jp/sustainability/environmental/ https://www.kokubu.co.jp/sustainability/environment/
	事業所での備え置き (複数可。書ききれない場合 は別様としてください)	閲 覧 場 所 1	
		所 在 地 1	
		閲 覧 可 能 時 間 1	
		閲 覧 場 所 2	
		所 在 地 2	
		閲 覧 可 能 時 間 2	
	その他		

（５）公表の担当部署

名 称 (複数可)		連 絡 先	
		電話番号	E-mailアドレス※
1	国分グループ本社（株）サステナビリティ推進部	03-3276-4121	
2	(株)マルエツ 総務部	03-3590-1210	
3			

※ 事業者のアドレスとする（個人が特定できるアドレスは記入しないこと）

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

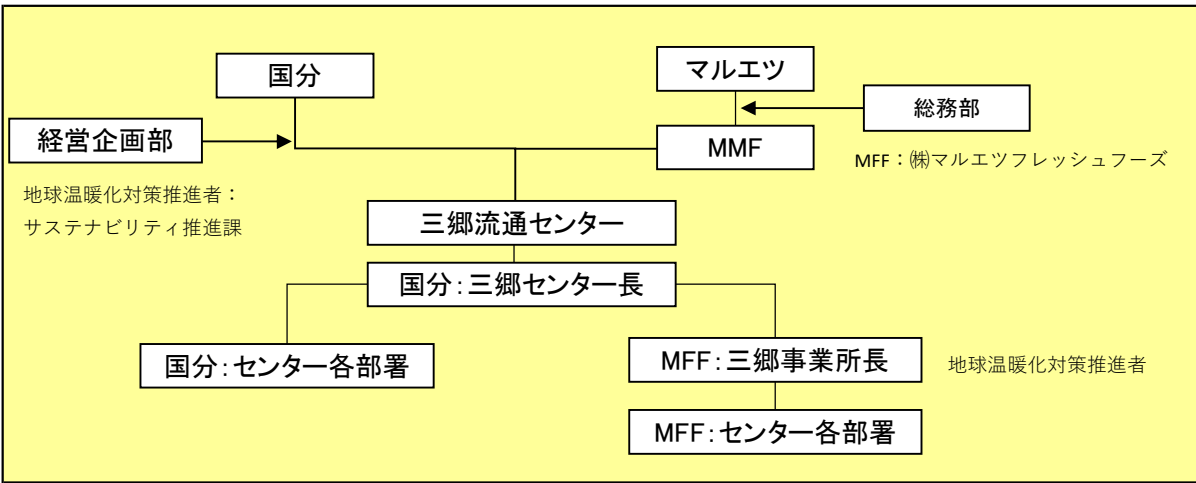
【三郷流通センター】
国分グループ、マルエツグループの両者の基本方針に則り、協力して地球温暖化対策を推進いたします。

*各社の環境基本方針

【国分株式会社】
国分グループの環境基本方針に従って行動します。
詳細：別紙参照（環境方針2017.1.1制定）

【株式会社マルエツフレッシュフーズ】
マルエツグループの環境基本方針に従って行動します。
詳細：別紙参照

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂	7,289	7,338	3,819	5,426	
そ の 他 ガ ス					
温 室 効 果 ガ ス の 計 合	7,289	7,338	3,819	5,426	

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

令和

6

年度

事業者番号0522事業所番号052201

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	国分・マルエツ 三郷流通センター		
事業所所在地	市区町村	三郷市	
	字・地番	インター南1－3－1	
産業分類名（中分類）	09 食料品製造業		
分類番号（中分類）	09		
事業活動の概要	事業内容	■事業内容：①酒類・飲食料品のドライ・冷凍冷蔵倉庫（配送拠点）②生鮮加工センターにおける食料品の仕入、製造、加工及び販売 ■従業員数：600名（パート・アルバイト含む）	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量7,358t-CO ₂ /年に対して、削減計画期間の平均削減率を15%以上とする。(必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	31,271	t-CO ₂			
	削減目標量(計画期間合計)	5,519	t-CO ₂	事業所区分	第1区分-(1)	

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量 7,358t-CO ₂ /年に対して、削減計画期間の平均削減率を(仮)22%削減します。				
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令 和 2 年 度 (2020年度)	令 和 3 年 度 (2021年度)	令 和 4 年 度 (2022年度)	令 和 5 年 度 (2023年度)	令 和 6 年 度 (2024年度)
	3,722	3,748	3,637	3,601	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令 和 2 年 度 (2020年度)	令 和 3 年 度 (2021年度)	令 和 4 年 度 (2022年度)	令 和 5 年 度 (2023年度)	令 和 6 年 度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂		7,289	7,338	3,819	5,426	
	前 年 度 比（％）	—	0.7	-48.0	42.1	
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂					
	メ タ ン					
	一 酸 化 二 窒 素					
	ハ イ ド フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	パ ー フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	六 ふ っ 化 い お う					
	三 ふ っ 化 窒 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		7,289	7,338	3,819	5,426	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令 和 2 年 度 (2020年度)	令 和 3 年 度 (2021年度)	令 和 4 年 度 (2022年度)	令 和 5 年 度 (2023年度)	令 和 6 年 度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂ 排 出 量 原 単 位		1.1656	1.2527	0.6924	0.9078	
	前 年 度 比（％）	—	7.5	-44.7	31.1	
活 動 規 模 の 指 標						
生 産 量	単 位 万パック数	6,253.64	5,857.83	5,515.92	5,976.99	

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	・気温の変化（特に、夏季の気温上昇）により、冷凍冷蔵区画の保冷に必要なエネルギーの増大 ・マルエツフレッシュフーズの食品製造部門の出荷数の増大に伴う、エネルギー消費の増加					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	・設備の不具合を修理したことにより、設備の稼働率が上がり、準じてエネルギー使用量も増加 ・気温の変化（特に、夏季の気温上昇）により、冷凍冷蔵区画の保冷に必要なエネルギーの増大 ・共用部エリア（バース、緑地帯、外灯等）の照明をLEDタイプへ交換（2021年12月）による消費電力の軽減 ・全体的には、気温上昇の寄与は大きく、消費エネルギーの微増					
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	・マルエツフレッシュフーズ工場区画の照明設備をLEDタイプへ交換（2023年1月）による消費電力の軽減（交換前より6～7%減を見込む） ・マルエツフレッシュフーズ生産量の増加による稼働率アップによる消費電力の増大 ・再生可能エネルギー（電力）の購入をしたことによるCO ₂ 起源排出量の削減効果（令和4年度 非化石電力使用割合 RE60）					
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	・令和4年度よりエネルギー使用量が微減しているのは、省エネ活動に務めたことによる減少 ・再生可能エネルギー（電力）の購入量が前年度より減少したためCO ₂ 排出量の削減効果が減少、前年度より排出量が増加した。 （令和5年度 非化石電力割合RE30）					
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	7,358	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量（t-CO ₂ /年）
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第1区分-（1）
----------	----------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位：t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	7,358	7,358	7,358	7,358	7,358	36,790
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	15.00%	15.00%	15.00%	15.00%	15.00%	
	排出上限量 ($C = \sum A - D$)						31,271
	排出削減目標量 ($D = \sum (A \times B)$)						5,519
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	7,289	7,338	3,819	5,426		23,872
	削減率 ($F = (A - E) / A$)	0.94%	0.27%	48.10%	26.26%		—
	排出削減量 ($G = A - E$)	69	20	3,539	1,932		5,560
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済	実施済		

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
			大 区 分				
1	490100	その他	49_排出量取引	削減目標未達成分のクレジットの購入 (充当期限：令和4年1月31日)	R3	R3	
2	490200	その他	49_その他の削減対策	再生可能エネルギーの購入	R5	R5	1,500.0
3	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	推進体制の維持と連携（継続）	R5	R5	
4	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	エネルギー使用量の把握（継続）	R5	R5	
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	共用部照明設備（蛍光灯）からLED照明 への交換	R4	R4	
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	マルエツ工場エリアの照明設備（蛍光灯）からLED照明へ交換	R4	R4	
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

--

環境理念



「人と社会に調和する商い」

～私たちは食を通じてこころ豊かな暮らしをお届けし、地球環境に配慮した商いをいたします～

環境方針

環境方針

1 地球からの恵みを大切にし、持続可能な社会の実現を目指します

- ①地球環境の汚染防止・負荷低減につとめます。
- ②食品のロス削減を目指します。
- ③環境に優しい備品・資材の利用を推進いたします。
- ④廃棄物の適正処理を徹底いたします。
- ⑤3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進いたします。

2 事業活動における省エネルギーを推進し、温室効果ガスの排出抑制につとめます

- ①物流に関わる省エネルギーを推進いたします。
- ②オフィス・物流施設・工場・店舗での省エネルギーを推進いたします。
- ③フロン類の適正管理をいたします。

3 環境コミュニケーションに積極的に取り組みます

- ①社会とのコミュニケーションや環境情報の開示につとめます。
- ②環境活動を通じて、企業価値向上を目指します。

4 社員一人ひとりが環境に配慮した行動をいたします

- ①環境に関する情報をグループ全体で共有し、社員自ら知識を高めます。
- ②環境マインド(Eco-ゴコロ)を醸成し、高いレベルの行動とより信頼される商いをおこないます。

5 環境管理体制を構築し、法令やルールを遵守いたします

- ①国分グループの環境管理体制を整えます。
- ②法令の理解を高めるための社員教育や啓蒙活動をおこないます。

2017年1月1日 制定 国分 勸兵衛
代表取締役会長兼社長 CEO

環境への取り組み



お客様に笑顔になっていただくための商品やサービスの多くは、豊かな自然が育んでくれるもの。
私たちは、地域社会を支えるサステナブルな事業活動の実現に向け、お客さまとともに地球環境を守る取り組みを続けています。

マルエツ環境方針

マルエツは地域に密着したスーパーマーケットとして、
安全で安心な商品やサービスの提供とともに持続可能な循環型社会を目指し、
お客さまと共に環境保全活動や地域の環境活動への支援を推進します。

- 1.当社の事業活動に伴う環境負荷を最小限にするために、環境目標の設定・推進を含め、
環境マネジメントシステムを運用し継続的に改善します。
①電気使用量削減等の省エネルギー・省資源を推進します。
②最終的な廃棄物を削減するために3R（リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・
リサイクル（再生利用））を推進します。
③地球温暖化防止のため、1店舗あたりのCO2排出量を削減します。
④環境に配慮した商品の普及に取り組みます。
- 2.環境保護のため汚染の予防や生態系の保護に努めるとともに、環境に関する適用可能な
法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
- 3.この方針を全従業員に周知徹底し、従業員一人ひとりが主体的に環境保全活動に取り組みます。
- 4.この方針を社内外に公表し、積極的な情報提供に努めます。

株式会社マルエツ
代表取締役社長 本間 正治

「ISO14001」の取り組みを推進

環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格である「ISO14001」の認証を、
2006年9月に本社および店舗において取得し、現在の認証事業所数は299事業
所（本社含む）となっています。

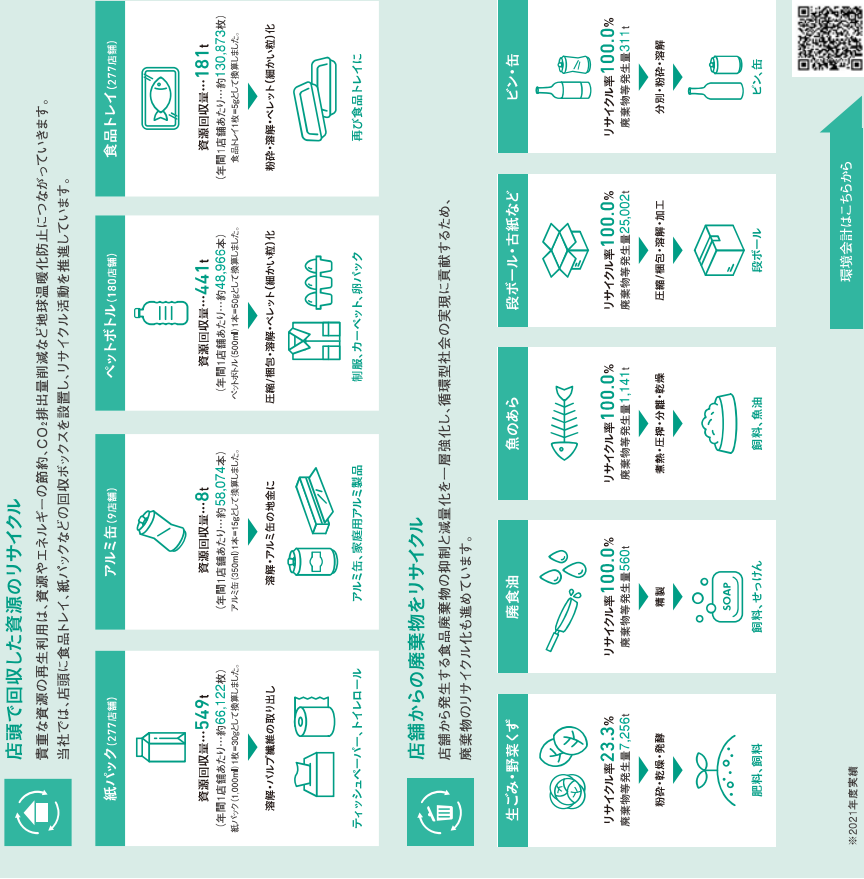
太陽光発電・EV充電スタンドの導入

船橋三山店では、店舗の屋上に太陽光発電設備を設置し、その電力を店舗の営
業活動で自産自消しています。電力コストの削減に貢献するほか、災害時停電の
非常用電源としても活用できます。また、近年の電気自動車（EV）増加に伴い、6店
舗でお客様用の駐車場に電気自動車用の急速充電スタンドを設置しています。
お買い物中に急速充電いただけるなど、インフラサービスの一環のほか、環境負荷
の低減に貢献しています。

リサイクル活動の推進

再生可能資源の回収を推進するため、店頭で食品トレイや紙パックなどのリサイクルボックスを設置しています。
紙パックについては、一部店舗でアルミ蒸着加工の紙パック製品も回収対象としているのが特徴です。

地域社会と協力してリサイクルを推進



廃棄物の「見える化」で従業員の削減意識を向上

廃棄物の排出量削減の第一歩は、どんなごみをどれだけ排出しているかを把握する
ことです。当社では、廃棄物計量管理システムをマルエツ屋号店舗を中心に導入し、
廃棄物排出量の「見える化」促進に取り組んでいます。自分が計量し、排出量の数値
を可視化することで、従業員一人ひとりが廃棄物の削減意識を高めています。

